

建設工事における安全衛生経費の適切な支払いに向けた取組の経緯 国土交通省

- 建設工事従事者の安全及び健康の確保は、建設工事の大前提。
- 建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画（平成29年6月閣議決定）に基づき、建設工事における安全衛生経費の適切な支払のための取組として、①確認表と、②標準見積書の作成・普及を推進。

平成28年12月	建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律 成立
平成29年6月	建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画（閣議決定） 安全衛生経費については（中略）適切かつ明確な積算がなされ下請負人まで確実に支払われるような実効性のある施策を検討し、実施すること
平成30年～令和4年	建設工事における安全衛生経費の確保に関する実務者検討会
令和4年～	安全衛生対策項目の確認表及び標準見積書に関するWG
令和5年8月	取組① 「安全衛生対策項目の確認表（参考ひな形）」及び「説明書」を公表 → 建設業者団体に作成・活用を依頼
令和6年3月	取組② 「安全衛生経費を内訳明示した見積書の作成手順」を公表 → 建設業者団体に「標準見積書」の作成・活用を依頼

取組① 安全衛生対策項目の確認表

- ・ 各専門工事業団体において、工事の特徴を踏まえ工種ごとに「確認表」を作成
- ・ 見積条件の提示の際に、安全衛生対策項目の「対策の実施分担」及び「費用負担」を元請・下請間において確認

取組② 安全衛生経費を内訳として明示するための標準見積書

- ・ 各専門工事業団体において、工事の特徴を踏まえ工種ごとに「標準見積書」を作成
- ・ 下請企業が元請企業（直近上位の注文者）に対して提出する見積書について、従来の総額によるものではなく、その中に含まれる安全衛生経費を内訳として明示



安全衛生経費の適切な支払い

- ※ 専門工事業団体等の協力を得て、5工種(型枠、管、内装仕上、外部足場、住宅)の確認表を先行的に検討・作成。

〇〇工事における安全衛生対策項目の確認表【参考ひな型】

管理区分	対策項目	対策の実施分担		費用負担	
		注文者	下請	注文者	下請
安全衛生管理 （業務用）	工事現場管理				
	リスクアセスメントの実施及びその結果に基づきリスク低減措置の実施				
労働者の危険又は健康障害を防止するための最良の方法	固定式足場の組立と解体				
	固定式足場以外の作業用の組立と解体				
	作業構台・吊り橋の組立と解体				
	昇降設備の設置と撤去				
	土留め工の組立と解体				
	保護具の着用				
	経路等による危険の防止				
	手摺、欄干等				
	開口部養生				
	落下防護ネット・小幡ネット				
	ロープ系所作業における危険の防止				
	乗客乗客災害による危険の防止				
	過重吊り上げ				
	管轄設備				
	遊園設備				
	火災防止				
機械並びに有害物に関する	危険物の取扱い（立入禁止措置）				
	調査の実施（確認調査・試験等）				
	安全点検の実施				
	機械等の危険防止				
	監視装置等に要する対策				
	食糧、材料保管等				
	その他				
	追加項目（当該工事で確認が必要な項目）				

取組② 安全衛生経費を内訳として明示するための「標準見積書」の作成・普及 国土交通省

- 「安全衛生経費を内訳明示した見積書の作成手順」を令和6年3月に作成し、建設業者団体に作成・活用を依頼。
- 各専門工事業団体に対し「安全衛生経費を内訳明示した見積書の作成手順」及び先行的に作成した工種※の標準見積書を参考に、安全衛生経費を内訳として明示するための「標準見積書」を検討・作成いただくよう依頼。
※ 専門工事業団体等の協力を得て、2工種(型枠、左官)の標準見積書を先行的に検討・作成。
- すべての建設企業に対して、「安全衛生対策項目の確認表」及び「標準見積書」を活用し、建設工事の現場において、下請企業が元請企業(直近上位の注文者)に対して提出する見積書について、安全衛生経費を見積書に内訳明示することにより、安全衛生経費の適切な支払いにつなげていただくよう依頼。

【国土交通省において作成した作成手順】

安全衛生経費を内訳明示した見積書の作成手順

1. 安全衛生経費を内訳明示した見積書とは

建設工事における労働災害防止対策を適切に実施する上で、必要な安全衛生経費について、適切かつ明確な積算がなされ、下請負人まで確実に支払われるよう、見積時に安全衛生対策項目の「対策の実施分担」及び「費用負担」を確認するための「安全衛生対策項目の確認表」及び安全衛生経費を内訳として明示した「標準見積書」の作成・普及に取り組んでいます。

安全衛生経費を内訳として明示した見積書(標準見積書)とは、下請負人が元請負人(直近上位の注文者)に対して提出している見積書を従来の総額によるものではなく、その中に含まれる安全衛生経費を内訳として明示したもので、これを活用することにより、安全衛生経費をしっかりと確保できるようにしていくためのものです。

なお、労働安全衛生法は、建設工事現場において、元請負人及び下請負人に対して、それぞれの立場に応じて、労働災害防止対策を講じることを義務付けていることから、安全衛生経費は、建設業法第19条の3に規定する「通常認められる原価」に含まれるものです。

2. 内訳明示する安全衛生経費の算出方法

安全衛生経費は、その範囲が必ずしも明確ではないため、元下間の安全衛生経費に関する認識のズレが生じ、ひいては下請までの適切な支払いに繋がっていないことが考えられます。

このため、安全衛生経費については、建設工事の工程、工事規模、施工場所等により異なることに十分留意するとともに、できる限り明確にする必要があります。

以下に、安全衛生経費の算出方法を例示します。

【先行的に作成した工種の標準見積書(案)「左官工事」(令和6年3月時点)】

御 見 積 書						
〇〇建設株式会社 御中				令和 年 月 日		
見積金額	¥〇〇〇			〇〇左官工業株式会社		
工 事 名				〇〇〇〇市〇〇区二丁目4番45号		
工 期	令和 年 月 日			TEL 〇〇〇〇		
	令和 年 月 日			FAX 〇〇〇〇		
				〇〇〇〇市〇〇区2番20号		
				TEL 〇〇〇〇		
				FAX 〇〇〇〇		
				〇〇〇〇市〇〇区六丁目24番48-4号		
				TEL 〇〇〇〇		
				FAX 〇〇〇〇		
				担当者		
名 称	積 算	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
左官工事	別紙内訳書のとおり					
材料費		1	式		〇〇〇	
労務費		1	式		〇〇〇	
総事業費		1	式		〇〇〇	
安全衛生経費(労務費の9%)		1	式		〇〇〇	安全衛生経費率算出表より
法定福利費		1	式		〇〇〇	
合 計					〇〇〇	

国土交通省において作成した作成手順では、安全衛生経費の内訳として以下の算出方法を例示

- ①個別工事現場(作業場)における安全衛生経費
- ②個別工事現場(作業場)における建設技能者に係る安全衛生経費
- ③店社で支出する安全衛生経費